



学校評価だより

令和5年2月10日
さくら市立上松山小学校



「学校評価（教育活動アンケート）」へのご協力ありがとうございました。

上松山小学校では学校教育目標の達成を目指して「かんがえる子（かしこさ）」「なかよくする子（やさしさ）」「げんきな子（たくましさ）」の具体目標のもと、教育計画にそった授業や学校行事などに取り組んできました。そして、12月には本校の教育活動全体について「学校評価」を実施しました。教職員はもとより、地域の方、児童や保護者の皆様にも評価していただきました。

その結果、以下のような「よさ」や「課題」が明らかになりました。来年度は、課題の解決に向けた学校改善に取り組んでいきます。保護者・学校・地域とが協力し合って子供たちを育てていくことが大切であると考えますので、これからも皆様のご理解と尚一層のご協力をよろしくお願いいたします。

1 「学校評価」の結果から明らかになった「よさ」や「課題」

(1) 明らかになった「よさ」

- ◎ 学校の雰囲気がよく、児童は楽しく学校生活を送っている。
- ◎ 教職員は、温かく誠実に教育にあたっている。
- ◎ 教職員は、授業を熱心に行い、児童の能力向上に努めている。
- ◎ 学校は、水と緑を生かした教育活動を進めている。
- ◎ 家庭や地域の学校支援ボランティア等と協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。
- ◎ 学校の様子などは、個人懇談や学校(学年)だより、ホームページなどで教育活動や児童の様子などの情報をよく発信している。

- ・児童・保護者・地域の方々の90%以上の方が、学校生活の様子や教職員の指導について、好意的に評価しています。
- ・保護者・地域の方々が、学校では学校環境や地域素材、地域の方々の教育力を生かした活動を行い、効果を上げていると感じています。

(2) 明らかになった「課題」

- △ 「明るいあいさつ」について、保護者や地域の方、教職員は指導が必要と感じている。
- △ 「家庭学習」、「楽しい読書」について、多くの保護者が十分ではないと感じている。
- △ 児童は「進んで手を挙げて発表するなど、積極的に学習している」を課題としている。

- ・登下校の交通マナーについては、今後も安全に対する児童の意識を高める指導を継続していきます。命に関わることは、繰り返し指導していきます。
- ・あいさつの指導は、児童会活動でも常時活動として取り組んできました。6回の強調週間では、教職員、児童会、PTA、地域の方々等からの声かけにより「あいさつ」を意識させる活動も実施しています。今後も日常のあいさつを重視し、「いつでも・どこでも・はっきりとあいさつができる」児童の育成を継続して行っていきます。
- ・自分の考えを自信をもって発表することが苦手であると感じている児童もいます。保護者や教職員は、自分の考えを話したり、人の話をよく聞いたりして学び合ってほしいと願っています。今後も学び合いの機会を意図的に取り入れ、主体的、対話的で深い学びの実現を目指していきます。
- ・読書については、本を読む機会を確保したことにより、図書室の本の貸し出し数が昨年度の1.5倍になりました。読書への関心に個人差はありますが、引き続き、いつでも読書できる環境作りと「読書通帳」などを活用し、本を読む楽しさを味わわせていきたいと考えます。

2 「学校評価」を受けての今後の取組みについて

アンケートの「さらによりよい学校にするために」に記入いただいたご意見で多かったものは、あいさつと登下校の安全についてです。あいさつについては、児童同士のあいさつもできるようにしていきたいと思っております。家庭と地域、学校が協力し合って、取り組んでいきたいと思っております。登下校については、「自分の命は自分で守る」という意識をもたせ、安全指導を続けていきます。ご家庭でも引き続きご協力をお願いします。

アンケートにお寄せいただいたご意見につきましては、次年度の活動の参考にさせていただきます。